

日本列島進化論—自分が進化すれば日本が進化し、日本が進化すれば世界が進化する

進化日本

能登から始まる日本列島大掃除構想

進化日本：縄文時代からの器用、工夫、品質、信用、和の団結のDNAと現代の歪みを直す。

進化人口：明治以前は3500万人自給社会。富国強兵異国依存で1億2千万人。自給人口に進化。

進化生活：団地による近所対話の激減、スーパー購買による町内対話の激減。対話社会に進化。

進化衣料：明治以来の北方背広革靴水虫文化から気候に適した縄文、重ね着衣服に進化。

進化食料：輸入肉パン食品から、身土不二、発酵食、真善美UMAMIの和食に進化(小泉武夫)

進化住居：電気依存の化成住居から、間伐木材利用の自然と呼吸する住居へ進化。

進化移動：僻地向きEVカー、高齢者向き自動EV、広域移動のMaaSなど移動道具の最適進化。

進化医学：狩猟採集時代と変わらぬ遺伝情報と現代の生活環境のギャップが万病の元(北原茂美)

進化経営：敵対しない報徳創造経営に進化。報徳財務諸表。(二宮尊徳、井深大、天明茂)

進化経済：金本位主義をやめ、徳本位主義とする(原丈人、斉藤幸平、宮沢和正)

進化地方：テレビで消えた地方色。大都市集中から地方経済自立進化と文化進化。

進化産業：4年に一度のM7天災、天災大国の自覚と天災共存の生活進化の産業革新。

進化外交：デカルト以来の心なし拝金経済、武力、金力の外交から報徳外交への進化。

進化教育：明治以来の同質、型はめ教育から、個人の資質醸成教育へ進化。大卒崇拜の減速。

進化育児：おとぎ話、ままごとは大人への自然育児。自然育児、五感活性の遊具、遊場の進化。

アドバイザー：中川十郎、小松昭夫、天明茂、小泉英明、紺野登、田中優子、加藤春一

進化日本の実現手順

進化日本運動

レジリエント・ジャパン・フェア
第一回 輪島市/能登市/珠洲市

地方自立運動（くじ引き民主主義、デジタル地域通貨等）

2024.1.30 文責 田村慎吾